俳句を写真画像と共に楽しむ 〈奇数月28日発刊〉



令和6年春の号 [vol.86]

https://isamusouma.web.fc2.com/

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2024 Sharakukai



春(3・4月)の兼題「風」

出題:梵木

写真俳句の部

(掲載ランダム)



春の風羊蹄木の花揺らし

(季語:春の風=春)

iSAMU

[この花はかっての香港の国花「羊蹄木(ようていぼく)」でした。 現在はどうなっているか判りません。]



家移りもどこ吹く風の古雛

(季語: 雛=春)

福来雀

[日英でなんども引っ越し。色は褪せてもお顔は若いままの雛人形。]



春風や無言で食べる恵方巻

(季語:春風=春)

千泉

[節分に恵方(今年の恵方は東北東でした)を向き黙って食べる 太巻きです。九州に来て初めて知った風習です。]



光風やスマホを閉じて空仰ぐ

(季語:光風=春)

池福楼



土手道にモネの彩り風光る (季語:風光る=春) 準坊



春空に未だ現役風を待つ (季語:春空=春) 昼寝覚



そよ風に 息づき 始む 吊る し 雛 (季語: 雛=春) 水澄





風を切り地響き立ちて春競馬 (季語:春競馬=春) 久芽



雨風に日差し願うも芽吹きかな (季語:芽吹き=春) 陽閑

俳句の部

(掲載ランダム)

窓開けて春風抜ける朝のバス 陽閑 (季語:春風=春)

青麦にフォルティッシモの風の歌 準坊 (季語:青麦=春)

山里の狛犬の背に花吹雪 昼寝覚 (季語:花吹雪=春)

奥能登の傷み和らげ雲雀東風 池福楼 (季語:雲雀東風=春)

傘寿なり春風しみる齢かな 千泉 (季語:春風=春)

身体の芯凩走り悲しと知る マム (季語: 凩=冬)

そよ風の先に春くるゆらゆらと 梵木 (季語:春くる=春)

太き腹をよけて靴紐春の風 一枝 (季語:春の風=春)

ねこ永眠る土の黒さや風は春 福来雀 (季語:風は春=春) [人間なら86才、口腔がんで逝く。痛みが消え春風の中でまったりしていることだろう。]

春風や母を追う子の帽子飛ぶ 久芽 (季語:春風=春)

うららかに足取り軽し河原風 水澄 (季語:うららか=春)



季語抜粋 風光る (かぜひかる) = 春になって日差しが強くなると、吹く風もまばゆく感じられる。【春】

光風 (こうふう) = 晴れあがった春の日にさわやかに吹く風。また、雨あがりに、草木の間を吹き渡る風。【春】

雲雀東風 (ひばりごち) = 東風、朝東風、夕東風、梅東風 他。東から吹くまだやや荒い早春の風。【春】

青麦 (あおむぎ) = 春、穂の出る前の葉や茎が青々としている麦のこと。【春】

花吹雪(はなふぶき) =桜の花が風に散り乱れるさまを吹雪にたとえたもの。【春】

麗か (うららか) = 春の日がうるわしくなごやかに照っているようす【春】

福来雀 -

継続は力と唱え駄句搾る [「ひねる」以前のレベル]

マイカップ探せど何処?チンの中 [温めていたのを忘れてた] 不祥事の尽きぬ政治家茶飯事に [大丈夫かこの国は]

池福楼 —

翔結婚おばちゃん膝から崩れ落ち [世界中で大谷ロス発生]

裏金は知らぬ存ぜぬ五人衆 [すべて秘書がやったこと・・・だと!]

昼寝覚 —

川柳のネタになるよなポカばかり [日頃の行動を反省して]

陽閑 —

転けたあとじわじわ傷む三日後に

[反応が鈍い・・・]

またチョコか和菓子食べたし国遠し [歳を重ねると尚更ですね]

千泉 —

妻が留守 それだけなのに 落ち着かぬ 音哉郎

小倉駅近くにある京町銀天街には川柳愛好家の 集まりがあるようです。

アーケードの中に10点ぐらいの川柳が出ており 行くたびに新しいのが出ています。





初夏(5・6月)の号兼題「母の日」

- 池福楼さんより初夏5・6月号の兼題を「母の日」と出題していた だきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自 由に発想を広げて作句をお願いします。
 - 締め切りは令和6年5月20日です。
- 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記のiSAMUさんのホームページから「写楽句会」をクリックして 頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。 https://isamusouma.web.fc2.com/

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com © 2024 Sharakukai